

コレクション展「戦後80年を迎えて」

期間:2025年3月26日(水)~6月15日(日)

周南市美術博物館

※展示順 ※各作家の略歴は裏面に紹介しています。

No.	作家名	作品名【よみ方】	点数	制作年	材質	サイズ(縦×横 cm)	
1	宮崎進	喰う(カーシャ)	1	1960(昭和35)年頃	ドライポイント・紙	23.0×21.0	
2		老いた虜囚	1	1970(昭和45)年頃		20.0×14.7	
3		哀史(野ざらし)	1	1980(昭和55)年頃		17.5×24.7	
4		哀しき奇遇(死者を運ぶ)	シベリアシリーズ	1		1960(昭和35)年頃	25.5×21.7
5		暗い断片		1			17.8×25.5
6		虚しい日々		1			18.0×25.5
7		俘虜の休日		1		1959(昭和34)年頃	17.0×22.5
8		ある朝		1		1960(昭和35)年頃	31.0×17.5
9		送られてきた捕虜		1	1953(昭和28)年	油彩・キャンバス	130.0×194.0
10		Voice of Friends		1	1990(平成2)年	麻布、油彩・合板	194.0×130.0
11		漂うひと		1	1996(平成8)年	油彩、綿布、麻布、紙テープ・キャンバス	162.1×130.6
12		檻		1	1994(平成6)年	油彩、麻布、綿布・合板	140.5×225.0
13		花咲く大地		1	2012(平成24)年	油彩、ミクストメディア、麻布・合板	153.0×190.0
14		歌う俘虜		1	1960(昭和35)年頃	ブロンズ	37.0×13.0×22.0
15		足(凍傷)		1	1995(平成7)年	コラグラフ・紙	41.0×32.0
16		囚われ		1	1994(平成6)年		42.0×33.3
17		自画像		1	1950(昭和25)年	鉛筆・紙	30.5×22.0
18		本を読む女性		1	制作年不詳		36.1×25.0
19		靴みがきの家族		1	1950(昭和25)年	鉛筆、水彩・紙	25.0×36.1
20		山本君		1			36.0×19.5
21		女性像		1	制作年不詳	水彩・紙	36.0×25.0
22		船のスケッチ		1		鉛筆・紙	20.5×29.2
23	堀口泰造	若い捕虜	1	1960年代末~1970年代	ブロンズ	高23.5	
24	久保克彦	自画像	1	制作年不詳	ポスターカラー・紙	水彩・紙	36.7×28.3
25		ごむの芽	1			32.0×23.0	
26		きんぎょをつばき	1			32.0×23.0	
27		からたちのとげ	1			32.0×23.0	
28		ひまらやしだ	1			30.2×23.0	
29		高貴石斛【こうきせっこく】	1			32.0×23.0	
30	静物	1	1940(昭和15)年	油彩・キャンバス	31.8×40.8		
31	宮崎進	遺されたもの	1	1995(平成7)年	樹脂	24.0×14.0×32.0	
32		ラーゲル	1	1953(昭和28)年	油彩・キャンバス	53.0×72.7	
33		望郷	1	1970(昭和45)年	油彩、綿布、麻布・板	97.0×145.0	
34		運ぶ人	1	1986(昭和61)年頃	鉛筆、水彩・紙	109.9×79.0	
35		孤独な男のためのエスキース	1	1990(平成2)年	鉛筆、水彩、紙テープ・紙	109.0×79.0	
36		TORSO	1			109.9×79.0	

計 36 点

—作家略歴—

※生没年順

堀口泰造
(1916-1999)

彫刻家。東京生まれ。'61(昭和36)年彫刻家菅沼五郎に師事。'62(昭和37)年から二紀展に出品。'66(昭和41)年二紀会彫刻部同人。'69(昭和44)年「カルメン・シリーズ」発表。'70(昭和45)年、二紀会会員。'75(昭和50)年第29回二紀展文部大臣賞受賞。'77(昭和52)年二紀会退会。'80(昭和55)年「第1回高村光太郎大賞展」(彫刻の森美術館)優秀賞受賞。'84(昭和59)年仙台市体育館レリーフ《燦 Sun》設置。埼玉県立近代美術館《トルソ》收藏。

久保克彦
(1918-1944)

熊毛郡佐賀村(現・平生町)佐合島生まれ。父は俳人の久保白船。1920(大正9)年に徳山に転居。'36(昭和11)年徳山中学校卒業後上京。川端画学校に通う。'38(昭和13)年東京美術学校(現・東京藝術大学)工芸科図案部入学。'42(昭和17)年9月繰上げ卒業し、応召、入隊。'44(昭和19)年、中国で戦死。卒業制作の「図案対象」は優秀作品として島田奨学資金賞を受賞、美術学校買い上げとなる。

宮崎進
(1922-2018)

洋画家。徳山町(現・周南市)御弓町生まれ。1942(昭和17)年日本美術学校油絵科を繰り上げ卒業、同年入隊、戦後捕虜となりシベリアに抑留される。復員後、上京。1967(昭和42)年第10回安井曾太郎記念賞受賞。1972(昭和47)～74(昭和49)年渡仏、帰国後はアトリエを鎌倉に移す。1995(平成7)年小山敬三賞、1998(平成10)年第48回芸術選奨文部大臣賞、2007(平成19)年旭日小綬章受章。2009(平成21)年から周南市美術博物館名誉館長をつとめた。